

『平成19年度環境ふくい推進協議会総会』を開催しました

6月7日(木)福井商工会議所ビルにおいて、「平成19年度環境ふくい推進協議会総会」が開催されました。

●会長が改選となりました● 会長 増永 矩明(ますなが のりあき) 【会長就任あいさつ】



環境ふくい推進協議会の会長に就任いたしました、増永でございます。就任にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

21世紀は「環境の世紀」と言われており、地球温暖化問題をはじめとする環境問題は、私たちにとって、最も身近で重要な問題の一つとなっております。

本県の素晴らしい環境を保全し、次の世代に引き継いでいけるよう私たち一人ひとりが、生活のあり方を環境の視点から見直し、果たすべき役割に責任を持たなければなりません。

当協議会は、平成6年の設立以来、環境保全に取り組む人々の自発的な活動の推進母体として活動を続けており、その役割は、近年ますます重要になってきております。

私は、当協議会の活動の着実な推進を図ることにより、環境保全に貢献していきたいと考えておりますので、皆様の御協力を重ねてお願い申し上げまして、簡単ではございますが、御挨拶とさせていただきます。

●平成19年度事業計画●

I 環境保全活動事業

- ①ふくい環境シンポジウム
- ②環境活動リーダー育成講座
- ③環境パートナーシップ交流会
- ④環境バスツアー
- ⑤環境アドバイザーの派遣
- ⑥環境保全活動の啓発
- ⑦環境情報の提供

新規事業★

II 情報紙発行事業

「みんなのかんきょう」を年4回発行

III 表彰事業

環境保全活動に取り組んでいる個人、団体、学校、企業を表彰

IV 普及広報活動

※各事業の開催時期および詳細については、その都度情報紙やチラシ等でお知らせします。



●講演会●



講師 京都大学名誉教授 内藤正明 氏

演題 『美しい星50』を真に実現するために ～脱石油社会のビジョンとシナリオ～

地球温暖化問題を解決していくためには、持続可能な社会の構築が必要である。そして、その実現のためには、私たちのライフスタイルの変革だけでなく、技術や社会システムの根本的な大変革が必要なのだ、ということを分かり易く御講演いただきました。

『分別回収容器』が寄贈されました

6月27日(水)に北陸コカ・コーラボトリング株式会社福井支社の松田支社長から、環境ふくい推進協議会に、資源ごみの分別用回収容器70個が寄贈されました。

●紹介● 同社は地域と密着した環境美化に取り組んでおり、昭和47年から毎年、空き缶入れや、回収容器を寄贈しています。

●分別容器● 今回寄贈された容器は、ポリエステル製の折りたたみ式で容量は200リットルあります。

●配付先● 当協議会を通じて希望のあった福井・坂井地区、奥越地区の3市町(福井市、坂井市、永平寺町)に配付されます。

役場、公民館等の公共施設や、イベント会場等で活用される予定です★☆☆



『クリーンアップふくい大作戦』に花の苗を寄付しました

「環境月間」中である6月3日(日)に、県内一斉に、清掃などの環境美化活動を行う、「クリーンアップふくい大作戦」が行われました。その中で、協議会より、環境美化活動の普及、啓発のためペチュニアの花の苗を寄付しました。クリーンアップふくい大作戦に参加された方々にお持ち帰りいただき、環境の輪をひろげました。

●場所● 越前町の長須浜海水浴場

●約400人の住民の方々が集まり、海岸沿いを500メートルにわたって漂着ごみなどを協力して拾いながら、汗を流しました。



●環境ふくい推進協議会は、今後とも「クリーンアップふくい大作戦」を、県や市町とともに主唱し、ふくいの美しい景観の維持と向上を目指した取り組みを進めていきます。